

池袋本町 ニュース 防災まちづくり

no.11
豊島区広報誌「ほろ」10-10-102
平成10年8月発行

東京都発表の地震に関する地域危険度 本町三丁目・四丁目 ワースト1と3

8月10日、地震に関する地域危険度と災害対策についての講演会が開かれました。講師は、豊島区災害対策担当部の南保靖彦防災課長。この中で、東京都が今春発表した調査によると、池袋本町三丁目が総合ランクで区内ワースト1、池袋本町四丁目と同3位、池袋本町一丁目と同17位、池袋本町二丁目と同20位と、いずれも地震による危険度が高いことが発表されました。

池袋本町三、四丁目の危険度が高い理由としては①谷塚川沿いで、比較的の地震の悪い地域の面積が大きいこと、②建築基準法の耐震性能基準が改定強化された昭和56年以前の木造家屋が多く密集していること、③広域避難所(赤羽・桐が丘)までの距離が遠いこと、などを挙げていました。

講師の南保課長は、比較的に費用のかからない、20mぐらいの厚さのベニヤによる壁の補強方法を会場で説明したり、バランスのよい間取り、建物にするように指導したほか、区の無料の耐震診断を受けるよう勧めました。

住民としては、自己の財産である住宅の災害に対する安全性を高める努力が必要であることと、池袋本町地区全体として、被害を大きくしないよう、たがいに知恵を出し合い、いざという時に協力しあえる雰囲気づくりを早急に進める必要性を再度痛感させられました。

区立小中学校の防災井戸 平成10年度は池袋中に建設

池袋本町防災まちづくりの会では、昨平成9年度は、池二小正門前に防災井戸と井戸広場、防火貯水槽(5t)を、救援センター校の能力強化と水利不足解消に向けて提案し、今年3月には完成することができました。

今年の総合防災訓練 地震のあとの5分が大事 8月30日 池袋中にて

池袋本町は豊島区でも最も災害危険度の高いまちです。そのようなまちだからこそ、自分たちのまちは自分たちで守るという心構えで、災害に向かわなくてはなりません。防災訓練は、災害に立ち向かう私たちの力を、よりいっそう強くしてくれるいい機会です。

今年の総合防災訓練は、これまでとおもひきを変えて、次のような訓練を行います。

①避難訓練
災害の時には、地区内の3つ学校が一時集合場所になります。今回の訓練では各町会ごとに決められた学校に集合し、次に池袋中に避難する訓練を行います。池袋中が一時集合場所となっている町会は最初から池袋中に避難します。

②捨てき消火訓練
ビニールの袋に入れた水(水ぼくだん)を使った初期消火の訓練です。この水ぼくだんは子供でも使える最も簡単な、しかし効果的な初期消火の方法です。

③救急訓練
万が一ケガをしてしまった時の応急処置を施さなければ、助かる命も助からなくなります。災害時にはもちろん、ふだんにも知っておきたい救急方法の訓練です。

この防災訓練は、本町地区にお住まいの方ならどなたでも参加できます。お誘いあわせの上、ご参加ください。

今年度は昨年に引き続き、池袋中に防災井戸、井戸広場、防火貯水槽を建設します。現在、学校やPTA、地元住民、防災まちづくりの会、区などで構成される池中井戸広場検討会が検討を行っています。これまでに井戸広場の場所を給食室前に決定、道路と高さを合わせて貯水槽を設置し、グラウンドと同じ高さになるように階段を設置し、グラウンドに直接入れるように階段を設置することが案として出されています。

つれづれに一言
忘れてはならない、あの日のことを。覚えて、あつちから守る。うんち想像力を働かせて、その時に何の出るかを。極限の状況の中では何もできないという。しかし人間の愛と知恵とがもたらす。何が出来るかも知れない。
戦争・災害・洪水・火事・公害・悪天候・シナクハクス症候群……。
天災・人災。天災は防ぐことが出来ないが、人災は防ぐことが出来る。今、目の前であるあなたの愛する人が呼吸停止したらどうするだろうか。多くの人は救急車を呼ぶだろう。救急車が到着するまでの間にあなたが出来ることがある。人工呼吸・心肺蘇生、それらの行動は後になって何もしないよりも確実な結果が出るかもしれない。通常火事の時のように、火事のは初期消火で決まる。後でどうすればよかったーと思わなければならない。その技術を身に付けよう。

再生紙を使用しています。

池袋本町防災まちづくりの会 今年度は各部会の検討が中心

池袋本町防災まちづくりの会では、4月26日に本町公園にて「第2回防災まちづくり祭」を開催しました。模擬店は24,274円の収益をあげることができました。今後、地域のための防災活動費等に当てるべく当面は貯金させていただいております。

さて、今年度の活動は約2か月に1回の全体会議と5つの部会での活動が中心になります。それぞれの今年の方針は次のとおりです。

- 水利部会**
- ①5t貯水槽の設置場所の選定
今年度は池中ともう一つ所に5tの貯水槽を設置します。場所は、本町二丁目児童遊園を区に提案しています。
 - ②井戸台板の整備
井戸の調査を実施し、水質や利用状況、小さな井戸広場にできる可能性などについて台板を作成しています。
 - ③貯水槽台板の整備
既存の貯水槽を確認して台板を作成しています。



救護救援部会

- ①部会員が救急救護訓練の講習を受講する計画となっています。
- ②救護センターの運営計画を立案したり、災害時に頼りになる人材探しを行う予定です。

広報部会

- ①会への関心を高めるために、年4回「ニュース」を発行することにし、配布方法も検討しています。
- ②当会の活動報告とともに、各町会の活動紹介など、広範な「街のニュース」を載せる号をタブロイド版でつくります。

道路部会

- 防災上重要な道路の点検を行いながら、①電柱の移設や共架、②交差点の部分的な改良などを求めていきます。

防災センター・避難場所部会

昨年作成した「防災センター計画、池袋第二小の整備計画」

まちの歴史 「氷川神社」

池袋本町三丁目の「氷川神社」は、「須佐之男命」をお祀りする神社です。「須佐之男命」(スサノノミコト)とは荒(スサノ)男(オトコ)の意味ですが、日本神話の天の岩戸での罪を悔い改め、神として「葦」(アライ)の位を受けました。八咫の大蛇退治の神話として有名な、出雲の川で天地自然の恵みをおびやかす害物を退治し、耕作を守ったため、農耕の神、田の神、水の神として関東では御祭神として奉じられています。

主神は埼玉県大宮市の氷川神社で、京都八坂神社等の流れをくみ、古くから疫病・災害を鎮める神社として崇められていました。また境内には、古くから池袋お富士があり、池袋富士浅間講により崇拝されておりました。

御祭礼は毎年9月16日になっておりますが、近年は子供さんの都合で前後の土日に行っています。今年の祭礼は9月12日(土)13日(日)の両日です。各町とも第十一地区全町会の御神輿が勢揃いで盛大です。

面書きの11の内容を学校やPTA代表とともにさらに検討を重ねます。

以上が当面の各部会の活動内容です。興味のある方は、全体会議・各部会ともに傍聴は可能です。また承認が得られれば入会もできます。お問い合わせは街づくり公社へ。

投稿、情報募集

次号10月下旬号は、タブロイド版4ページにして情報量を増やし、町会などまちの話題を多く採り入れたいと考えています。特に防災や当会へのご意見などありましたら、是非投稿して下さい。また、おもしろい話題がありましたら、ご連絡ください。できるだけ取材に伺いたいと存じます。

まちのカレンダー 池袋本町の行事あれこれ(平成10年8月~12月)

月	行事
8月	宮元町会夏休み子供会(20) 氷川神社祭礼(22) 豊島区総合防災訓練の日(29) 池二小PTAバザー
9月	全国防災の日(15) 敬老の日(18) 氷川神社祭礼(22) 秋の全国交通安全運動期間(21~30) 池二小PTAバザー
10月	赤い羽根共同募金開始(10) 四丁目町会 避難所まで歩く会(10) 二丁目町会 防災訓練(18) 四丁目町会 運動会(25)
11月	池二小 第11地区連合町会運動会(9~15) 秋の防災予防運動(9~15)
12月	年末消防特別警戒(1~30) 各町会単位歳末警戒実施(20~31)

発行 池袋本町防災まちづくりの会・豊島区まちづくり推進課 問い合わせ先: 財団法人 豊島区街づくり公社 電話03-3581-1111(内)2682 編集協力 株式会社エコライン